

令和5年度第2回札幌方面小樽警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和5年12月21日（木）午後1時30分から午後3時10分まで

2 開催場所

小樽警察署 大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 10人（10人）

会	長	高橋幸孝
副	会	長 福原圭一、山口真三子
委	員	飯田博美、石岡二郎、小松田哲弘
		松田有未、松本京子、森田一弘
		領家綾音

(2) 警察署員 6人

署	長	佐藤伸治
副	署	長 山下秀昭
刑事・生活安全官		丸山昌賢
地域・交通官		荒川洋平
警務課	長	小林正春
警務係	長	（事務局）

4 会長挨拶

警察署協議会の開催に当たり、協議会委員を代表しまして御挨拶申し上げます。
今年も残り10日となり、警察の方々も、委員の皆様も、お忙しい中集まって頂き、ありがとうございます。

皆さん、一年を振り返ってみて、どんな一年だったでしょうか。

私は、ニュース等を見ていると、極端に良いこと・悪いことがあった一年だったという印象です。

死体遺棄事件や殺人事件などの凶悪犯罪があった一方で、スポーツは明るい話題が多く、野球の大谷選手の活躍ぶり等は、皆さんもよくご存じかと思います。

是非、皆様には、素晴らしい新年を迎えて頂きたいと思います。

今回の警察署協議会では、警察の方々から業務の説明を頂きますが、前回と同様に、委員の皆さんからも活発な御意見や御質問をお願い致します。

5 署長挨拶

7月14日の第1回開催から少し間が開きましたが、本日、第2回目の開催を迎えるに当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

今年の特徴を簡潔に申し上げますと犯罪や交通事故の発生状況が、コロナ禍前の水準に戻っていると思われまます。

具体的には、今年の暑い夏、海水浴客が数多く海辺に出かけ、「潮まつり」の4年ぶりフルスペック開催、各町のお祭りも活況を呈したほか、小樽運河100周年を迎えて、各種のセレモニーが開催されていること、さらにインバウンドも相当程度戻ってきており、小樽の賑やかさが回復基調にあると感じています。

こうした人流の回復に伴い、刑法犯の認知件数や交通事故の発生件数も前年比微増に転じるなど、地域の安全・安心に対する脅威が高まる中、当署と致しましても、多くの事件検挙、犯罪や交通事故抑止のための広報活動、小樽市内の学校とコラボレーションした各種の活動などを通じて、力を尽くして参りました。

本会では、今年活動概要をお知らせいたしますが、皆様には小樽警察署に今後進めて欲しいことについての御意見を発信していただきたいと考えております。

より安全で安心できる小樽を実現していくために、あらゆる視点から警察業務というものを見ていただき、皆様方から忌憚のない御意見、御要望を伺いたいと考えておりますので、どうぞよろしく御願い申し上げます。

6 前回協議会の質問事項への回答

(1) 小樽駅前の交通規制について

【前回の質問】

小樽駅前の出入口が分かりづらく、逆走して入ってくる車も見かけます。

このままでは、いつ事故が起きてもおかしくないので、標識や看板を設置するなどして、もっとわかりやすくした方がいいと思います。

【警察回答】

小樽駅前の正面出入口は、片側3車線の駅前中央通から続く道となりますので、道路幅が広く、出入口の真ん中に短い中央分離帯があって、その中央分離帯上に、指定方向外進行禁止（左斜め下方向矢印）の標識の設置があるものの、

とくに、国道5号線を札幌方向に進行する車両が右折して小樽駅に入る際、誤って進行してはいけない手前側の反対車線に進入して逆走してしまうというような事象を防ぐためには、標識のほかに、わかりやすい看板を設置したり、路面に進行方向を表示するなどの措置を考えています。これら看板の設置につきまして道路管理者となる小樽市や開発局とも協議を行っているところです。

(2) サイバーセキュリティ講話の依頼について

【前回の質問】

市民に対するサイバーセキュリティ講話を個別にお願いすることは可能か教えて欲しい。

【警察回答】

可能です。

講義の内容は、最近のサイバーセキュリティ情勢に合わせ、具体的には

- ・ 道内の医療機関、学校、中小企業でも被害が確認されているランサムウェアの感染実態やその対策
- ・ 近頃は、高齢者のほか、10歳代や20歳代の被害もあるサポート詐欺発生状況及びその対策

などの講義内容になります。遠慮せずにお声掛けをお願い致します。

7 11月末までの犯罪情勢

8 11月末までの交通事故発生状況

9 警察が行った各種活動

- (1) 小樽市内高校生とコラボレーションをした各種広報の展開
- (2) 中央バス（株）との安全協定
- (3) 行政と連携したヒグマ対応・パトロール警戒の実施
- (4) コロナ禍明けで復活した祭典警備の実施
- (5) 高齢者の保護・行方不明事案の増加に対する集中的対応

10 議題・説明事項

- (1) 冬期間の交通安全対策について警察に求めたいこと
- (2) 交番・駐在所が中心となっていく事案解決運動の活用方策について
- (3) 小樽警察署管内における交番・駐在所の統廃合についての説明

11 懲戒処分事案の説明

12 次回の議題の検討

事務局に一任することとなった。

13 要望・意見の確認

【委員】

熊を殺した後、「熊を殺すな」と苦情が入ることがあるとニュースを見ましたが、小樽警察署にも同様の苦情は入っているのでしょうか。

【警察】

小樽警察署では認知しておりません。

【委員】

小樽市でも把握していません。

【委員】

高校や幼稚園とコラボレーションした各種活動は、本当に素晴らしいと思います。

幼稚園で行った寸劇で、警察官が演じた犯人の外見は、黒色サングラスを着用していましたが、怪しくない、いたって「普通」の人にこそ、注意が必要だと思います。

【警察】

参考とさせていただきます。

【委員】

今年は車の脱輪事故が多く発生していると思います。

昨年までも脱輪事故は発生しているはずなのに、どうして今年はこんなにニュース等で話題になっているのでしょうか。

また、警察ではどのような対策をとっているのか教えて欲しいです。

【警察】

先月の11月14日に、札幌市西区で、軽乗用車から脱落したタイヤが4歳の女の子に直撃する痛ましい事故が発生しました。小樽警察署管内におきましても、今月に入ってから3件のタイヤ脱落事故を認知しているほか、道内各地でもタイヤ脱落事故に関する報道がなされているため、今年はタイヤの脱落が多いという印象を持た

れているかもしれませんが、数字上の統計は取っていないので、今年が特別多いかどうかは判明していません。ただ、タイヤの脱落事故については、タイヤ交換の時期以降に発生していることは事実ですので、当署では、この種事故の再発を防ぐため、人々に広く注意喚起するという目的で、積極的に報道機関に情報提供するようにしているところです。

当署では、具体的な注意喚起内容として、

- ・ タイヤを交換したときは、ナットの緩みを確認すること
- ・ タイヤ交換後、約100キロメートル走行後に増し締めをすること
- ・ 定期的にナットの緩み状況を確認すること
- ・ 車の運転操作で違和感を感じた場合は、運転をやめ、車両点検を実施すること

を広報しているほか、先日は「FMおたる」に署員が出演して注意喚起を実施するなど、あらゆる機会を通じて地域住民の皆様へ呼びかけを行っております。また、今後、トラック協会を通じ、警察官立会いのもと、大型車に対するタイヤの一斉点検も実施する予定です。

幸いにも、当署管内でタイヤ脱落による人身被害は出ておりませんが、この種事故の再発を防ぐため、皆様におかれましても、今一度、お持ちの車の点検と増し締め等の措置をお願い致します。

【委員】

ニュースを見ていると、SNSを利用した投資詐欺が多く発生しているという印象を受けます。小樽でも高額の投資詐欺被害にあった方がいたかと思います。何故騙されてしまうのか、その手口や被害に遭わない方法等について教えてください。

【警察】

本年11月末での小樽管内における特殊詐欺被害については2件で被害額が218万円でありましたが、12月に入りまして、約1千万円被害の投資名目特殊詐欺を認知しています。

北海道警察では、実際に詐欺に遭った被害者等の協力を得てアンケート調査を行っており、そのアンケートの分析結果や被害防止に繋がる有効な対策として、小樽署ではこれまで、

- ・ 家族や身内による声掛けの推進
- ・ 警察相談電話#9110の周知促進
- ・ インパクトある広報活動

- ・ 迷惑電話防止機能付き機器の導入及び留守番電話設定の促進
- ・ 巡回連絡など直接的な防犯指導
- ・ 金融機関、コンビニ店などとの連携の強化

等の対策を行ってきましたが、一定数の被害が発生しており、現時点において、全ての被害を防止するために出来得る手段を全て講じています。

詐欺の被害を1件でも少なくするためには、これまで行ってきた対策を継続していくことが最も重要な対策だと考えております。

もちろん、発生した事件については、犯人の検挙に向けて捜査を継続中でありま

す。

【委員】

今後は、協議会終了後に、委員だけでディスカッションする時間を設けることを検討しています。

その理由は、より実効性の高い議論を深めて行くために行うものです。

【警察】

わかりました。具体的な実施要領については、事務局と話し合いを進め次回の第3回の協議会から行うこととします。

14 次回の開催予定

令和6年2月下旬の開催を予定